

田中宣光 議員

会派 自由市民

## 侵入盗に対する防犯対策に補助制度を。

**問** 草加市内の住宅を対象とした侵入窃盗の件数は。

**答** 令和4年の発生件数は175件であり、令和3年と比較して2倍以上となっている。

**問** 自宅への侵入窃盗を防ぐ対策は。

**答** 「不用意に家族や資産の情報を教えない」「在宅中でも玄関や窓には必ず鍵をかける」などの対策があり、市のHP

や啓発チラシに掲載して市民へ周知を図っている。

**問** 「侵入盗に対する防犯対策」への補助制度について検討する必要があるのでは。

**答** 窓への補助錠の設置や、窓ガラスに防犯フィルムを貼るなどの対策は効果があると考えている。今後、調査・研究を行っていく。



堀込彰一 議員

会派 公明党

## コロナ対策に「ローリングストック法」を

**問** コロナウイルス感染症の位置付けが5類に引き下げられ外出ができるようになって、高齢者が感染した場合など、自力で買い物が出来ない場合も考えられる。このような食料の調達ができない状況に対し、事前にできること、備えられる物資など、考えられる対策は？

**答** ローリングストック法とは特定の非常食だけ

を長期保存するだけでなく、常時保存可能で、普段の食事にも使用できる食品や日用品を少し多めに買い置きしておき古いものから消費し、消費した分を買い足す方法。この方法により、常に一定量の食品や日用品が備蓄されている状態となる。いつり患しても困ることがないように、ローリングストック法を活用し準備していただきたい。



藤原みどり 議員

会派 公明党

## 産後ケア事業—4月からスタート！！

**問** 産後ケア事業の目的・支援内容・今後のスケジュールについて

**答** 母親の身体的回復と心理的な安定を図ると共に母子と家族が健やかな育児が出来るよう支援を行う事業。4月からの開始に向けて準備を進めている。訪問型(1回1,000円)・通所型(1日3,000円)・宿泊型(2日10,000円)、と必要に応じて利用可能。

宿泊型・通所型・訪問型合わせて7日まで利用可。

**問** 「リトルベビーハンドブック」の市の取り組みについて

**答** 埼玉県が作成したハンドブックをもとに、さらに、子育てに必要な情報等を整理・掲載した「草加市版リトルベビーハンドブック」として作成し、4月より低出生体重児等発育に応じて希望される方に活用予定。



森覚 議員

会派 公明党

## 学校における危険箇所について

**問** 市民の方より市立中学校の校舎内にらせん階段がありその中央部が吹き抜けで生徒の転落や落ちた物に当たりケガをする等の危険箇所があるとの相談があった。

小・中学校における安全点検はどのように行われ危険箇所を掌握し対応しているのか。校内への不審者侵入が想定される箇所への対応と万が一に備えての対応を伺う。

**答** 管理職が日々巡視し、定期的な安全点検を行っている。軽微な場合は学校で対応し修繕が必要な場合は教育委員会に報告することとなっている。児童生徒の登校後に門扉や昇降口の扉を閉め不審者が容易に侵入できないようしている。万が一侵入があった場合に備えて危機管理マニュアルに基づき避難訓練を実施している。



中島綾菜 議員

会派 立憲民主党

## インクルーシブ公園・遊具の設置を！

**問** インクルーシブ公園とは、障がいの有無に関わらず誰もが遊べるように設計された公園である。障がい者への誤解や偏見、差別を生まないためには多様性の促進、ダイバーシティ・マネジメントが不可欠。

そこで、インクルーシブ遊具を設置する公園の選定に向けて現時点における本市の見解は？

**答** インクルーシブ遊具を整備できる環境が整っている、そうか公園のリニューアルに併せて、設置に向けた検討を進める。他の公園の整備も、交通便利性、遊具の配置、公園内の動線といった課題を解決できることを前提とし、整備後も公園自体の魅力や評価を高めていく工夫が必要となる。



平野厚子 議員

無所属

## 保育園保留児が871人！保育園の増設を！

**問** 今年2月1日時点における保育園に入れなかった子どもの数は871人。保育園が足りない。保育士の増員とともに保育園の増設を。とくに保留児の多い獨協大前駅・新田駅の西側地域に。

また、送迎保育についても保育ニーズに合わせて小回りが利く複数ルートの創設で対応を。

**答** まつばらきた・さかえ保育園で保育士配置を

工夫し1歳児の受け入れ人数を10人増やす。暫定的な公園利用も含めた保育所整備については総合的な観点から保育提供体制を検討していく。栄中学校の建て替えについては庁内・教育委員会と連携を図りながら保育園の複合化についても課題のひとつとして調整する。送迎保育については、今後も可能な限り利用者の希望にそって継続する。

